

- 問1 かつて官営八幡製鉄所を中心に鉄鋼業の拠点として発展した福岡県北部の港周辺では、大きな産業構造の変化が見られます。1970年と2015年の輸出品目を比較した資料によると、1970年には鉄鋼が輸出額の第1位でしたが、2015年には半導体等電子部品が第1位となっています。このような特徴を持ち、周辺では工場跡地の再開発によってテーマパークなども建設されている港はどこですか。（2017年 東京都公立入試 類似）
1. 富士港 2. 成田国際空港 3. 北九州港 4. 名古屋港
- 問2 鹿児島県や宮崎県などを中心に、肉用牛や豚、鶏などの飼育が盛んな地域が九州地方です。この地方の農業産出額における品目別割合において、最も大きな割合を占めている部門はどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
1. 果実 2. 米 3. 畜産 4. 野菜
- 問3 九州地方北部に位置し、多くの半島や島々からなる複雑な海岸線を持ち、雲仙岳などの火山が分布する地域で行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
1. 冬の多い積雪と豊富な地下水を活用した、大規模な水田単作経営 2. 海岸沿いに広がる広大な砂丘を利用した、スプリンクラーによる果樹栽培 3. 「やませ」の影響による冷害を克服するために発達した、稲作と野菜の輪作 4. 年間を通した温暖な気候を利用した、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作
- 問4 九州地方南部に位置し、薩摩半島側の沿岸部に石油備蓄基地が立地している県について、その交通環境や都市整備に関する記述として最も適切なものを選択してください。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。 2. 石油備蓄基地のある西側の半島には鉄道が一切通っておらず、主要な交通手段は船舶のみに限られている。 3. 県庁所在地では地下鉄網が発達しており、路面電車はすべて廃止され、バスの利用も極めて少ない。 4. 2004年に九州新幹線が開通したが、県庁所在地周辺にシラス台地は存在せず、すべて平坦な低地に住宅地が広がっている。
- 問5 九州地方の農業について述べた次の文のうち、鹿児島県の農業産出額の構成的特徴を正しく説明しているものはどれか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）
1. 平坦な筑紫平野を中心に稲作が行われ、農業産出額の半分以上を米が占めている。 2. 有明海沿岸の干拓地を中心に、クレークを活用した麦と米の二毛作が農業産出額の柱となっている。 3. 農業産出額の約6割を畜産が占めており、特に豚や肉用牛の生産が全国有数の規模である。 4. 宮崎県と同様に、平野部における野菜の促成栽培が産出額の大部分を占めている。
- 問6 沖縄などの南西諸島に見られる伝統的な家屋では、家の周囲を丈夫な石垣で囲む工夫がなされています。このような造りになっている主な理由として、地域の自然環境の特徴と関連付けて説明したものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 夏から秋にかけて頻繁に接近・上陸する台風による激しい風から家屋を守るため。 2. 冬の季節風によって運ばれてくる大量の積雪から家屋が押しつぶされるのを防ぐため。 3. 標高が低く、周辺の河川が氾濫した際に浸水被害を最小限に食い止めるため。 4. 近くにある大規模な飛行場などの軍事基地から発生する激しい騒音を遮断するため。
- 問7 九州地方の南部に広がる「シラス台地」では、土地の性質上の理由から古くより大規模な稲作を行うことが困難でした。このような地理的条件を背景として、この地域で特に発展した農業の形態を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 冬でも温暖な気候を活かし、平野部全体にビニールハウスを設置してメロンの促成栽培に特化した。 2. 土壌が肥沃で水もちが良いため、大型機械を導入した大規模な米の単作が行われるようになった。 3. 夏の冷涼な気候を活かして、レタスやキャベツなどの高原野菜を栽培するようになった。 4. 水はけが良すぎるという土地の性質を考慮し、牛や豚、鶏などを育てる畜産が盛んになった。
- 問8 ある都道府県の農業統計において、年間の農業産出額が約4,772億円に達し、その部門別割合を見ると畜産が65.4%と極めて高い数値を示しています。また、1農家当たりの耕地面積は約2.37ヘクタールであり、肉用牛の飼育が特に盛んなこの都道府県はどこですか。（2024年 山口県公立入試 類似）
1. 鹿児島県 2. 北海道 3. 富山県 4. 宮崎県
- 問9 九州地方の各県の産業について述べた次の説明のうち、宮崎県と福岡県の特徴を正しく組み合わせたものはどれですか。（2023年 三重県公立入試 類似）
1. 宮崎県は平野部を中心に稲作が盛んで米の産出額が九州で最も多く、福岡県は畜産が県内の農業の大部分を占めている。 2. 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。 3. 宮崎県は工業出荷額が九州地方の中で最大規模であり、福岡県は農業産出額において米の産出額が畜産を上回っている。 4. 宮崎県と福岡県はともに農業産出額のうち米の割合が最も高く、工業については佐賀県の出荷額が九州で最大である。
- 問10 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。（2019年 三重県公立入試 類似）
1. 甲府盆地 2. カルデラ 3. 筑紫平野 4. シラス台地
- 問11 九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
1. シラス台地 2. 扇状地 3. 三角州 4. カルデラ
- 問12 九州南部のシラス台地では、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および豚や鶏などの畜産が盛んに行われてきました。このように土地が利用されてきた理由を、地形や土壌の観点から説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）
1. 標高が高く一年を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足しているから。 2. 台地が平坦ではなく急斜面が多いため、大規模な水田を整備する物理的な余地がないから。 3. 土壌に塩分が蓄積しやすい性質があり、塩害に弱い稲の栽培には適していないから。 4. 土壌が火山灰や軽石を多く含み水はけが良すぎるため、水田に必要な水を確保しにくいから。
- 問13 宮崎平野などの九州地方の太平洋側では、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の促成栽培が盛んです。この地域に温暖な気候をもたらしている海流の影響について、最も適切な説明はどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
1. 千島列島から南下してくる寒流である親潮の影響で、夏でも気温が上がりやすいから。 2. シベリア沿岸から南下する寒流であるリマン海流が、冬に乾燥した暖かい風を送り込むため。 3. 対馬海峡を抜けて日本海を流れる対馬海流が、太平洋側に熱を運んでいるため。 4. 赤道付近から北上してくる暖流である黒潮の影響で、冬の気温が下がりやすいから。